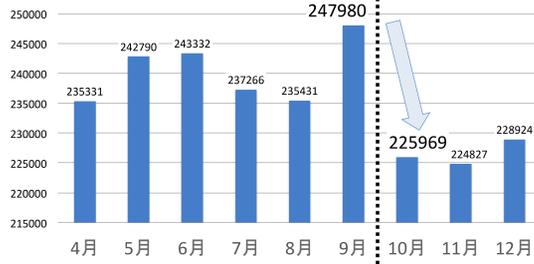


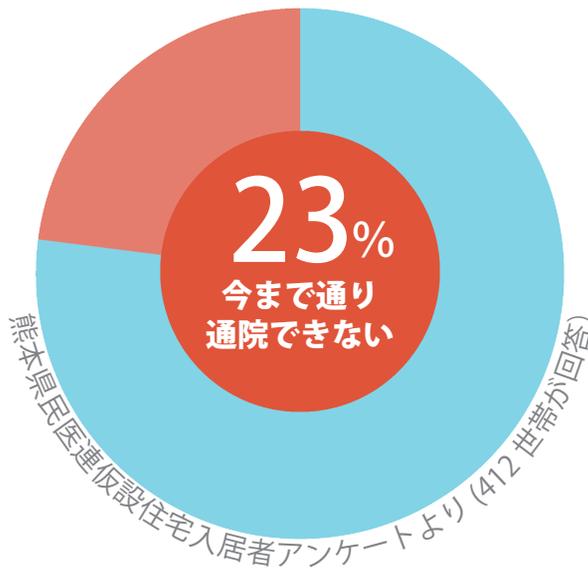
医療費免除復活は

被災者の願い

熊本市国保加入者月別レセプト件数の推移



医療費減免打ち切り後
受診回数 20,000 件減少



岩手と福島は震災後7年経っても

県が財政支援を行って医療費免除を続けているのに……。



熊本は何で
出来ないの？



医療費の窓口負担等の免除措置復活を求める会呼びかけ人

- | | |
|-------|----------------------|
| 児成 豊 | 甲佐町白旗仮設団地自治会長 |
| 荒瀬 芳昭 | 益城町木山仮設団地自治会長 |
| 平島 睦子 | 西原村小森第4 仮設団地自治会長 |
| 鈴川 将司 | 西原村小森第1 仮設団地自治会長 |
| 緒方 一男 | 大津町南出口仮設団地 (大津) 自治会長 |
| 木村 忠 | 熊本市藤山仮設住宅自治会長 |

熊本地震における医療費の窓口負担等 の免除措置復活を求める署名

2016年4月に発生した熊本地震から約1年半、仮設団地やみなし仮設などで避難生活を継続している多くの被災者が助けられていた「医療費の窓口負担等の免除措置」が昨年9月末で終了しました。

しかし、まだ4万人近くの方々が避難生活をおくり、多くの方が病気を抱えています。生活環境の変化や生活再建が見通せない不安などから、症状が悪化しても、医療費の支払いなどを心配し、通院を我慢している方もいます。我慢して重症化し、救急車で運ばれている方もいます。どうか安心して病院にかかれるよう、医療費の窓口負担等の免除措置を復活させてください。

要請項目

**医療費の窓口負担等の免除措置を復活させ、
多くの被災者が安心して病院にかかれるようにしてください。**

氏 名	住 所

熊本地震における医療費の窓口負担等の免除措置復活を求める会
代表 児成豊（甲佐町白旗仮設団地自治会長）